

いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、  
市内全校に広げるために

# 令和7年度 絆づくり成果交流会 実施報告書



なかなおいマーク

令和7年10月30日(木)  
滝川市立中学校3校  
滝川市役所6階 601・602会議室

滝川市教育委員会

# 令和7年度「絆づくり成果交流会」

=いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、市内全校に広げるために=



なかなおひマーク

期日：令和7年10月30日（木）  
場所：市内中学校（三か所）  
滝川市役所601・602会議室

## 《開 会》

- 1 オリエンテーション 滝川市教育委員会 教育総務課主査 伊 東 一 樹
- 2 参加者交流（中学校区での自己紹介）
- 2 各中学校区の実践交流の紹介（実践交流）

- ① 開西中学校区  
（開西中学校、西小学校）
- ② 江陵中学校区  
（江陵中学校、滝川第一小学校、滝川第二小学校、江部乙小学校）
- ③ 明苑中学校区  
（明苑中学校、滝川第三小学校、東小学校）

- 3 グループ協議（中学校区）  
テーマ「実践交流を通して感じたこと、自分も相手も大切にすることができること」
- 4 発表・交流（全体）
- 5 講 評 滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

## 《閉 会》



心の教育推進キャンペーン

[主催] 滝川市教育委員会

[後援] 滝川地区保護司会・滝川市PTA連合会



全校児童の「いい顔 いい声 いい心」がたくさん見られる学校に！！  
 ～全校児童が笑いあえる学校を目指した児童会企画～

## 〈 取組内容 〉

学校目標の「いい顔 いい声 いい心」がたくさん見られる学校にしていくために、前期児童会では「全校児童が元気にあいさつする習慣をつけ、笑いあえる学校を作る児童会」という目標を立てました。ここでは、目標達成のために行ってきた活動を紹介します。

### 1 全校交流イベント

「全校児童が笑いあえる学校」を実現するためには全校児童で交流する機会が必要だと考え、全校交流イベントで「進化じゃんけん」を実施しました。

じゃんけんという簡単な内容に一工夫加えることで、学年を問わずに楽しめる内容にしました。また、イベント進行中は児童会役員が声掛けを行い、他学年と交流しやすい空気づくりを心掛けました。



全校交流イベントの様子

### 2 あいさつ運動

「全校児童が笑いあえる学校」をつくるためには、学年の垣根を超えた日々のあいさつ習慣が重要だと考え、あいさつ運動を実施しました。

「スタンプ目当てになってしまった」という昨年度の反省を生かし、スタンプ等のごほうびになるものを用いず、あいさつのみを行いました。

実施場所については昨年度から変更し、玄関にて行いました。学校に入ってすぐに元気なあいさつをすることで、その後もハキハキとあいさつをしやすい心や身体の状態をつくるのが狙いでした。



あいさつ運動の様子

## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

#### ○【1 全校交流イベント】

予想以上に盛り上がりました。狙い通りほかの学年の児童との交流が生まれ、じゃんけんの勝敗に一喜一憂している様子が見られました。

#### ○【2 あいさつ運動】

児童会メンバーのあいさつに対して、他の児童は元気に挨拶を返している様子でした。この活動を弾みに、今後のあいさつ習慣につなげていきたいです。

#### ▲【1 全校交流イベント】

ステージの上にたくさんの人が集まることで児童が楽しんでいた半面、安全性の面で課題が残りました。次はステージ以外に集まるように改善したいです。

#### ▲【2 あいさつ運動】

あいさつ運動の際にはあいさつが行われていましたが、日々の習慣としては定着しませんでした。今後は、あいさつがもっと習慣化するような取り組みを考えていきたいです。

## 児童みんなの笑顔あふれる学校づくり

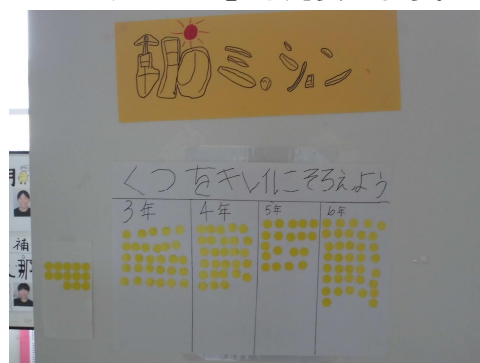
## 〈 取組内容 〉

## 1 「朝のミッション」

一つのことを児童みんなで共有したり、頑張って取り組む中で、少しでも毎日に楽しみをもって登校することができたらいいな…という願いから行った企画です。

お昼の放送で、次の日に全校児童に取り組んでもらう「ミッション」を発表します。例えば、

- 朝、自分から進んで5人顔を見ながら挨拶しよう。
- くつをきれいにそろえよう
- 8時10分に朝学習の準備をしよう。
- 宿題などの提出物を忘れずに出そう。
- 他学年の人、3人とハイタッチをしよう。



のような内容です。

次の日の朝に、児童一人ひとりでミッションに取り組み、クリアできたらシールを貼ります。その日の放送で学年ごとのミッション達成者の数を発表します。

## 2 校内クイズ宝さがし

児童みんなに笑顔になってほしいという思いから生まれた企画です。

なぞなぞが書かれた「お宝」を学校内にかくします。各学級の生活班で協力してお宝を探し、お宝に書かれたなぞなぞに答えるとそのお宝がゲットできます。「ろう下を走らない」というルールで、お宝を一つゲットして体育館にくるまでのタイムを競います。

また、なぞなぞの答えを間違えると別のお宝を探しに行かないといけません。



## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

## 〈朝のミッション〉

- 他学年との交流を通して、仲良くなれました。
- 日頃の自分の生活を見直すことができたのでよかったです。
- ▲ シールを貼る時間が少なかったです。

## 〈校内クイズ宝さがし〉

- 自分一人ではなく、みんなで協力してなぞなぞに正解できたことがうれしかったです。
- ▲ 班の人とは交流できたけど、他の班の人やクラスがちがう人とも取り組みたかったです。

## あいさつをとoshi、笑顔あふれる第三小学校をめざして

## 〈 取組内容 〉

## 1 あいさつ運動

前期は、書記局主催のあいさつ運動に、各委員会の委員長、生活委員会、4年生以上の代表委員に応援を呼びかけ、総勢44名で玄関前や階段・廊下、各学級の教室前など様々な場所に立ち、あいさつ運動を行いました。



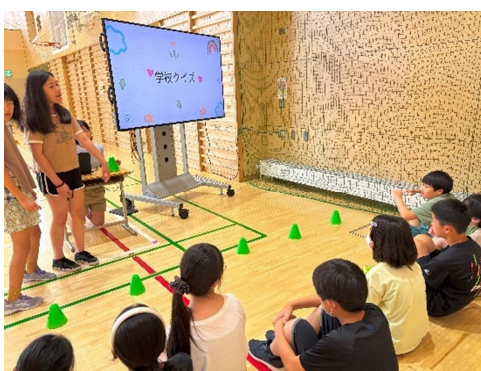
さらに、活動のふり返しとして、毎回、お昼の放送で全学年のあいさつの様子をふり返りました。後期は、あいさつバトンリレーを企画しています。気持ち

のよいあいさつができた人には、あいさつメダルを渡す計画も立てています。また、朝のあいさつだけではなく、「さようなら」も交わすことができるような内容も検討しています。気持ちのよいあいさつが響き合う第三小学校をめざしてあいさつに力を入れています。

## 2 各委員会の企画・運営による集会活動

書記局をはじめ、各委員会でも、学年をこえた「絆」ができるように工夫して活動しています。

書記局は「第三最高ニコニコ集会」、体育委員会は「協力する力や体力をつける遊び」、集会委員



会は「チャレンジラン集会（チャレンジランキングの略）」を実施しました。他学年と体を動かしたり、協力したりして楽しい時間を過ごしまし

た。また、高学年が主体的に司会や進行を行い、下級生の良きお手本となる姿も見られました。

## 3 友達を増やそうプロジェクト

後期のメインは、『友達を増やそうプロジェクト』です。ルール of 簡単な遊びでみんなが笑顔になれる内容や普段、関わりが少ない学年の組み合わせなどの工夫を取り入れた企画を考えています。

## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- あいさつ運動では、各委員会や代表委員に応援を呼びかけたことで、たくさんの児童の協力を得ることができ、あいさつをすることの意識が高まった。また、お昼の放送で、活動のふり返しをしたことが、さらに効果的だった。
- ▲ 主体的に児童会活動をすることをめざしているが、放課後の活動時間の確保が難しく準備するのが大変だった。

## 児童会と代表委員会による「仲間づくりプロジェクト」

## 〈 取組内容 〉

## 1 仲間づくりプロジェクト第1弾「全校かくれんぼ」

西小学校児童会で毎年行っている、仲間作りプロジェクトの今年の第1弾は、特別なスキルを必要とせず、誰でも参加しやすく、共通の楽しさを共有しやすいということから、「全校かくれんぼ」を行った。

全校児童と一緒に活動することで、普段あまり関わる機会のない上級生と下級生が自然に交流できた。



## 2 仲間作りプロジェクト第2弾「じゃんけん列車」

第1弾の「全校かくれんぼ」に続き、異学年との交流を促進し、全校の一体感を生み出すことを目的にして「じゃんけん列車」を行った。勝っても負けても終わりはならず、必ず誰かと繋がっていくルールのため、「全校かくれんぼ」以上に、普段関わらない学年の児童と交流する機会を生み出すことができた。



## 3 「グッドグリーティング」「あいさつ運動」

毎朝登校時間に合わせ児童会が、音楽を流しながら一言メッセージやクイズなど、気持ちよく一日がスタートできるように『グッドグリーティング』という声かけを行った。また、7月にあいさつ運動を行い、しっかりあいさつを返せた人にシールを渡して、児童玄関前に掲示した表の、自分の学年の場所に貼るようにした。普段よりも大きな声であいさつできる人が増えた。



## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○仲間作りプロジェクトの「全校かくれんぼ」「じゃんけん列車」は、どちらもルールが簡単なので1～6年生のだれもが楽しみながら参加することができた。特に、「じゃんけん列車」では、じゃんけんをする時や、繋がる時に自然と声を掛け合う必要があり、初対面の子同士でもコミュニケーションを取りやすい雰囲気になっていた。

○グッドグリーティングは、毎年続いている伝統的な活動となっていて、楽しみに聞いてくれている児童や職員が多い。

○あいさつ運動では、シールをもらえることがモチベーションとなり、いつもより積極的にあいさつできる人が増えた。

▲全校かくれんぼでは、廊下を走らないように呼びかけたが、夢中になるあまり走ってしまう子が多かった。

▲あいさつ運動期間以外でも、いろいろな人に対して積極的にあいさつする児童を増やすための方策を考えていく必要がある。

## 互いを思い合い、元気いっぱい笑顔があふれる江部乙小学校

## 〈 取組内容 〉

## 1 あいさつ運動

【目的】

朝の元気なあいさつで気持ちのよい一日をスタートさせよう。

【方法】

- ・よいあいさつを事前に全校児童に知らせる。
- ・書記局が全員で朝玄関に立ち、あいさつする。
- ・元気にあいさつをしてくれたことに対する感謝の気持ちを全校朝会で伝えて表彰状を渡す。



## 2 全校遊び

【目的】

遊びを通して全校児童と仲良くなろう。

【方法】

- ・書記局が全校遊びを企画する。
- ・前期は「全校ドッジボール」を企画、実施。



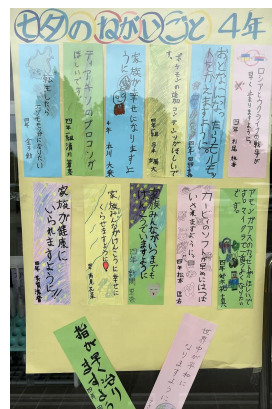
## 3 短冊の飾り付け

【目的】

全校児童の決意や願いを交流し、絆を深める。

【方法】

- ・生活楽校委員会が企画、実施する。
- ・運動会に向けた決意や、七夕の願い事などを短冊に書いて児童玄関に掲示する。



## 4 なやみごとボックス

【目的】

困っている人が一人で悩まないように、みんなで助け合おう。

【方法】

- ・「なやみごとボックス」を設置し、悩みを解決する。



## 5 そらぷちキッズキャンプへの募金活動

【目的】

江部乙にある「そらぷちキッズキャンプ」に協力しよう。

【方法】

- ・そらぷちキッズキャンプについて知ってもらう。
- ・全校のみんなに募金への協力を呼びかける。



## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○自分から積極的にあいさつする人や、相手の目を見てあいさつする人が増えた。

○「全校遊び」や「短冊の取り組み」により、異学年の交流の輪が広がった。

○なやみごとボックスを活用して悩んでいる人へのアドバイスや解決策を伝えることができた。

▲より効果的な交流の機会が増やせるとよい。

## 「あいさつと 笑顔であふれる 東小を目指して」

## 〈 取組内容 〉

## 1 「よつばがつなく あいさつの輪」運動

「あいさつの東小」を目指し、今までの書記局が行ってきた朝のあいさつ運動に継続して取り組みました。「自分から6人」にあいさつをしたら四つ葉の葉を1枚貼るという活動を行うことで、進んであいさつをしようという意識を高めることができました。

書記局が中心となりましたが、他の委員会の人にも1日ずつ活動に参加してもらいました。5、6年生全員が関わることで、進んであいさつをしようという気持ちを一人一人がもって生活することができました。

継続して取り組むことで、「〇人にあいさつしたよ!」「あいさつをしてくれる人が増えたよ!」などの声が聞かれ、たくさんの四つ葉が完成しました。



## 2 仲を深める異学年レク「ニコニコ大作戦」

東小学校は児童数の多い学校なので、他の学年には話したことがない人がたくさんいます。絆を深めるためにまずはお互いのことを知るという目的で、異学年レク「ニコニコ大作戦・自己紹介おにごっこ」を行いました。

一方の学年がおにになり、タッチされたら名前や好きなものを紹介し合います。上の学年は歩いて逃げるといったルールを加えることで、低学年でもつかまえやすく、いろいろなところで自己紹介をする姿が見られました。

「話したことがない人と話せた!」「友達になったよ!」など、笑顔の輪が広がりました。



## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○四つ葉の葉が完成していく様子が目に見えるので、進んであいさつをする人が増えました。  
○普段なかなか関わり合えない学年同士でレクをすることで、友達を増やすきっかけを作ることができました。

▲あいさつは、あいさつ運動期間だけではなく、普段から積極的にできるような取り組みが必要だと思いました。また、あいさつをしても返さない人にはどのような取り組みが効果的か考えていきたいと思っています。

## 「絆づくり交流授業」

## 〈 取組内容 〉

## 1 生徒会の「絆づくり交流授業」

はじめに、生徒会執行部の中で「絆」という言葉から連想することについて話し合い、「仲間」や「友人関係」と行った意見が出されました。学校全体の「仲間」や「友人関係」をより深くするために、どうすればよいか考えたところ、様々な活動を通じてお互いを知る機会を増やすことで、安心できる場所が育まれると考えました。



そこで生徒会では、日頃の生活で関わる学年（横）の関係だけではなく、異学年（縦）で交流することで、お互いを知るきっかけが生まれ、安心できる空間作りには効果的であると考えました。絆づくり交流授業では、学年も学級も混ざった9クラスを作り、生徒会執行部のメンバーが先生となり授業を進めました。いじめがなくなり、友人関係が円滑になるようにコミュニケーションを学び、絆が深まるような授業を企画しました。

## 主な内容

- ① 自己紹介 ② アイスブレイク
- ③ 多様性について考える（さまざまな権利について）
- ④ 絆の標語づくり



活動のはじめは、緊張感や関係のぎこちなさがありました。が、次第に笑顔があふれ、最後の標語づくりでは「相手のことを思いやり、笑顔で受け入れ合おう！」「積極的に話し合い、互いの意見を尊重し認め合おう」「いじめより認め合う社会になろう」など、班ごとに考えた標語を発表しました。

## 2 生徒会役員による挨拶運動

挨拶がある学校は明るく・いじめがなくなるという思いから、生徒会執行部は、朝の時間を活用し、登校する生徒に対して約20分間の挨拶運動を行っています。挨拶運動は生徒会メンバーを3班編制、輪番で行っています。1年生は入学直後よりも、挨拶ができるようになってきました。また、1の絆づくり交流授業の後では、少しでも見知り合った生徒もいて挨拶がしやすい学校になりました。

このあと後期には新生徒会長の公約に「あいさつチャレンジ」があります。「あいさつチャレンジ」では挨拶の仕方にテーマを設定し、誰もが笑顔になれるあいさつをめざし活動をしていく予定です。生徒会では、よりよい学校の雰囲気からいじめがなくなること、また、自分も相手も尊重し、いじめがなくなっていくことを期待しています。

## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○交流授業をしたことで、他学年や普段関わりが少ない級友などとコミュニケーションを取る機会を作り、良い雰囲気を取り組むことができた。

○交流授業の中で、自分と他者の違いを感じ取り、お互いを認める雰囲気を作ることができた。

○意見を言いやすい環境や相談の場を増やすことがいじめを減らし、絆を育むことに繋がると実感した。

▲普段から、自分から進んで挨拶をしたり、コミュニケーションを取れるようになるには、経験や場数、時間がかかると感じたので、今後も取り組みを継続していく必要があると思いました。

## いじめ根絶に向けて～明苑中学校区で一丸となって取り組む活動～

## 〈 取組内容 〉

## 1 生徒が主体となって行うあいさつ運動

明苑中学校では、生徒会執行部や学級役員（委員長、副委員長、議長）が中心となって生徒玄関前で毎朝あいさつ運動を行っています。

玄関に立って「おはようございます」と声をかけ合うことで、人と人とのつながりや会話のきっかけをつくり、一日を明るくすることにつなげたいと考えています。挨拶をしても返してもらえないこともありましたが、日々継続していくことで着実に挨拶の輪が広がっていると感じています。「あいさつの明苑」を作っていくためにとっても大切な取り組みです。

人とのつながりという視点では、地域の除雪ボランティアを実施しました。相手のために自分ができることを一人ひとりが自発的に行い、感謝の言葉をもらいました。また、夏休みに小学校に勉強を教えに行く学びのボランティアも行っていきます。

今後も絆づくりを継続していきたいと思っています。



## 2 いじめゼロのために連携を目指す取り組み

東小・第三小・明苑中の3校で毎年継続した取り組みとなっている「いじめ撲滅集会」を昨年度は明苑中学校に集まり、取り組みました。

昨年は「3つの事例」について感情に着目しながら、「みんなが嫌な思いをしないために」どのようなことができるかを考えました。当日は、SNSでのやりとりをもとに事例検討を行い、グループごとに今後の生活の中で意識できるよう「スローガン」を決めました。

そのスローガンを記載したポスターを明苑中学校区で掲示し、各校で活動を振り返られるようにしました。多種多様なスローガンが出された中でアンケートの結果、「相手にした行いは必ず自分に返ってくると「鏡」だと思って話すことが大切である。」という理由から「相手は鏡」がスローガンとなりました。

今年度もいじめ撲滅に向けたスローガンをつくる予定です。



## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○自らあいさつをしてくれる人が増えた。

○いじめ撲滅集会では、直接交流することで三校の様々な意見を知ることができた。

▲あいさつを言葉でなく、会釈だけで済ませる生徒がいる。

▲いじめ撲滅集会はグループによって交流の密度が異なることがあった。

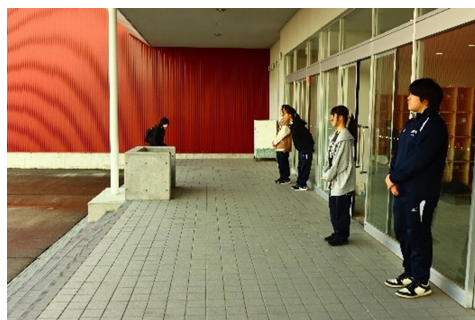
## 「一人一人が安心して過ごせる学校づくり～縦の繋がりを意識して～」

## 〈 取組内容 〉

## 1 生徒会や委員会による毎朝の挨拶運動

生徒会を中心に毎朝 7:55～8:05 に、生徒玄関前や職員室前廊下で登校してきた生徒に挨拶運動を行っています。全校生徒が誰に対しても気持ちの良い挨拶ができるようにという目的で行っています。4月の初めなどは挨拶が暗かったり、返答がなかったりする人も見られましたが、徐々に自分から挨拶ができる人も増えてきています。

気持ちの良い挨拶で、気持ち良く1日のスタートが切れるように今後も継続していきます。



## 2 リモート授業によるいじめ根絶座談会

毎年全校生徒でいじめ根絶に向けた道徳の授業を行っています。GoogleMeet を活用して、9月と11月の2回に分けて行います。9月の1回目の授業では、「いじめの境界線について考える」というテーマで行いました。

それぞれの視点からいじめについて考え、グループで交流し、理解を深めました。日常生活の場面から自分事として捉えることで考えが深まりました。

2回目の授業では、いじめ防止や相互理解が深まるよう標語を作るなどして全校で交流していきます。



## 3 行事での全校交流

学校祭や体育大会で全校生徒が交流できるような取組を行っています。体育大会では、縦割りチームでの5色綱引き、学校祭では縦割りダンス発表や、縁日、午後からの生徒会企画で全校が交流できる企画を行いました。異学年の人と協力して作業をしたり、みんなで一致団結をして学校祭の成功に導いたことで絆が深まりました。

全校生徒129名という規模を生かして、今後も縦の繋がりが深まるような取組を生徒会を中心に行っていきます。



## 〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 他学年と交流する機会が昨年度よりも増え、異学年との繋がりが深まった。
- ▲ いじめ根絶集会などで、グループ毎に考えの深まりに差が見られたので、自分事として捉えられるような工夫をする。

## 2、児童生徒からの感想

「参考になったこと」や「今後自分の学校で取り組んでみたいこと」など感想を書いてください。

小学校

- ・第二小学校の朝のミッションが参考になった
- ・滝川市立西小学校の、じゃんけん列車は低学年にも簡単なルールで、運動が苦手な子でも、楽しめるから、東小学校でも、取り組んで行きたいと思いました。
- ・滝川市立江部乙小学校の、短冊の飾り付けは、全校児童全員が交流できて、とてもいいと思い、参考になりました。
- ・江陵中学校の取り組みが参考になった。今後中学生になったときに交流授業をしてみたい
- ・東小学校の取り組みが参考になった。今後、ニコニコ大作戦に取り組んでみたい。
- ・第三小学校の取り組みが参考になった今後挨拶バトンリレーがと入り組んでみたいです
- ・江部乙小学校のあいさつ運動の感謝を伝えるのがいいと思ったので今後の活動に取り入れてみたい。
- ・いじめ根絶集会や東小学校のニコニコ大作戦・自己紹介鬼ごっこを、是非児童会三役以外の委員会で取り入れていきたいと思いました。素晴らしい案をありがとうございました。
- ・東小学校の取り組みが参考になりました。
- ・今後、西小学校でも江部乙小学校の悩み事ボックスに取り組んでみたいです
- ・江部乙小のお悩みボックス
- ・今後、第二小学校の朝のミッションに取り組んでみたい
- ・東小学校のニコニコ大作戦に取り組んでみたいです。
- ・いじめ撲滅集会とよつばがつなぐあいさつの輪がすごく良いと思いました。

中学校

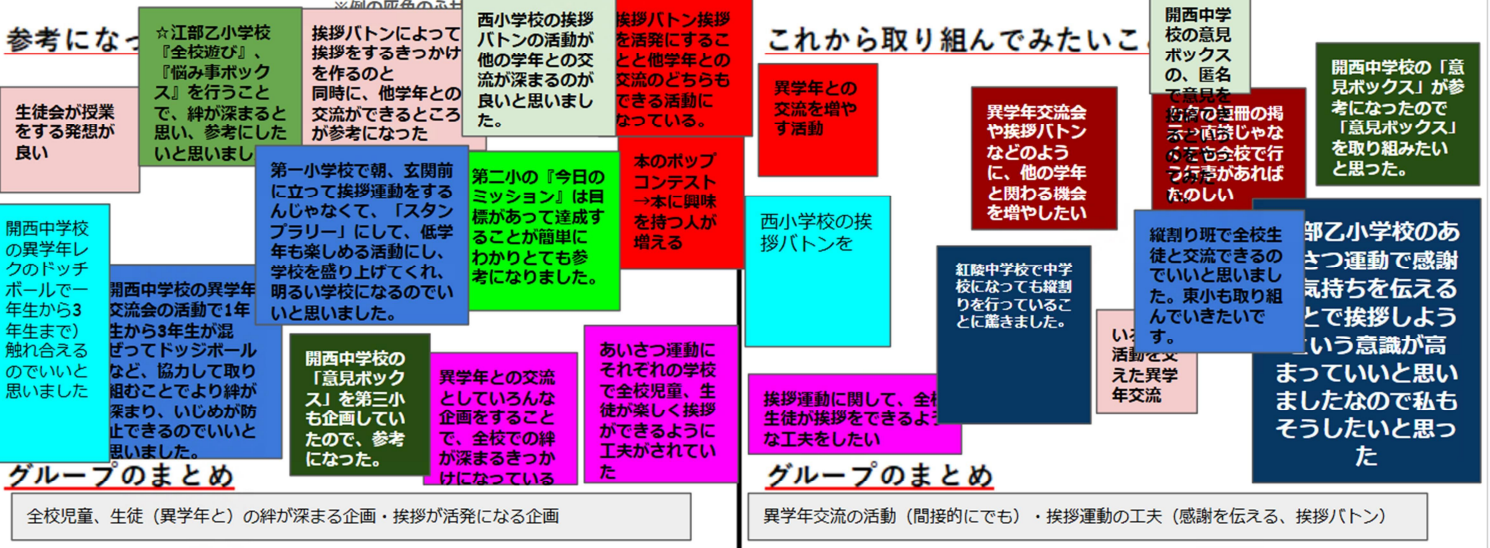
- ・江陵中学校の絆作り交流授業が参考になりました。これから、開西中学校でも学年ばらばらのグループで異学年交流できるようなイベント・授業の企画などに取り組んでみたいと思いました。あとは、江部乙小学校の悩み事ボックスの取り組みが参考になりました。一人で悩む人が少しでも減るような活動に触れてこなかったのが、これからこの取り組みを参考にしていきたいです。
- ・江陵中学校の交流授業に取り組んでみたいなと思いました。なぜならみんなで交流できてしっかり授業もするのでいいと思いました。参考になった取り組みは、江部乙小のあいさつ運動であいさつをちゃんとした人には、賞状を渡すという取り組みです。
- ・他校の生徒会が工夫して絆を深めている取組を聞き、とても刺激を受けました。自校でも、学年をこえた交流や感謝の気持ちを伝える活動を増やし、学校全体が温かい雰囲気になるように取り組んでいきたいです。
- ・全校生徒で交流するイベントはいじめをなくして良い学校を作るのに参考になりました。明苑でも今後他学年との交流を盛んにして仲が良く楽しくて明るい学校を作っていきたいです
- ・第三小学校の挨拶の四葉プロジェクトが参考になりました。実際に開西中学校でも取り組んでみたいです。
- ・第二小学校の「朝のチャレンジ」の取り組みが、私の公約と取り組みが似ていて参考になりました。
- ・今後、もっと江陵、江部乙、第二、第一のこうした交流事業に参加してみたいです。
- ・明苑中学校のいじめ撲滅集会という取り組みがとても参考になった。今後取り組みたいとも思った。
- ・参考になったことは第三小の44人でいろいろなところで挨拶するのがいいと思いました
- ・いろんな学校によって取り組みが違うなと思った。
- ・自分的には明苑中学校のいじめ撲滅会がいいと思った。”
- ・第一小学校の進化じゃんけんの取り組みが参考になった。理由は、じゃんけんはどこでもできる上、みんなで楽しめるから良いと思った。すべての学校良かった。



# グループ協議のまとめ（明苑中校区）

## 明苑中学校区用

### 協議①「他の中学校区の取り組みを聞いて感じたこと」



参考になった～全校児童生徒の絆が深まる企画、挨拶が活発になる企画

これからの取組～異学年交流、挨拶運動の工夫

## 明苑中学校区用

### 協議②「自分も相手も大切にするためにできること」

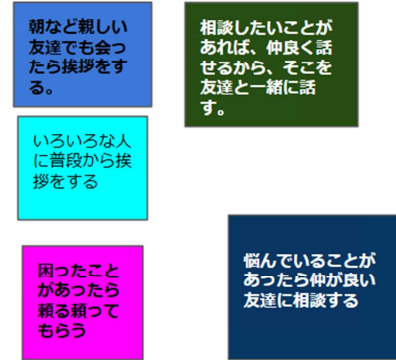
#### A一人のできること



#### グループのまとめ

周りの人の気持ちを考えて行動・元気になる挨拶（聞こえやすい声）をする

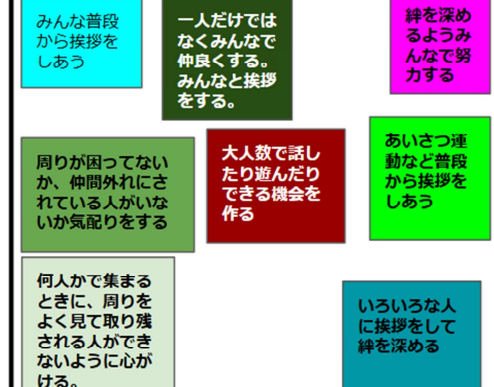
#### B友だちのできること



#### グループのまとめ

友達同士で挨拶をしたり、相談し合ったりする

#### Cみんなのできること



#### グループのまとめ

周りをよく見る、普段から挨拶をするなど、皆と関わり絆を深める

一人のできる～周りの気持ちを考えて行動。元気な挨拶をする。  
 友だちのできる～挨拶をしたり、相談したりする。  
 みんなのできる～周りをよく見て、挨拶をし、絆を深める。

# グループ協議のまとめ（開西中校区）

## 開西中学校区用

### 協議①「他の中学校区の取り組みを聞いて感じたこと」

#### 参考になった点！

※例の灰色のカードは、活動の効果を最大限活かす環境づくりです↓

**意見** 自分たちの学校のいいところや悪いところを全校生徒から聞くのがいいと思った

**意見** 対抗など競い合うことで参加してくれる人が増えると思った。

**意見** あいさつ運動ってどこでもやっているものなんだなと感じた。

**意見** 挨拶に遊び心をいれるのが面白く感じた

**意見** ミッションとかいかりにも楽しそうな言葉が出てくるのが面白かった楽しそう。

**意見** 交流授業少しやってみたら面白かった

**意見** 学校のいいところを皆で書いて貼るという取り組み

**意見** 自分たちの良いところを自分たちで考えるというのが面白いと思った。

**意見** 交流授業がより絆を深められそうなのでうちでもやってみたいと思った。

**意見** ミッションで絆作りをする発想がすごいと思った。

**意見** 活動の効果を最大限活かす環境づくり

**意見** 異学年交流を大事にする！（例：交流授業）

**意見** あいさつをするだけでなく挨拶がなくなるようなスタンプラリーとかをしているのがいいと思った

**意見** どの学校でも挨拶をあまり返してくれない人がいるので自分たちがしっかりと返さなければいいと思った

#### これから取り組んでみたいこと！

**意見** 挨拶についての取り組みをいっぱいやっていく。新しく入学してくる1年生への企画をしている

**意見** 全部の学校が挨拶を大事している。挨拶以外にもいろいろなことも大事にしている。楽しいイベントを開催していて全員が楽しめる。他の学年との交流授業をしていてとても交流が深まる。どの学校も良い成果が出ていて凄い。クイズなどをして児童たちを楽しませている。

**意見** 挨拶の取り組みをたくさんやっているが、どの学校でも挨拶を返してくれない人もいるので、全員が挨拶をできるように企画を考えなければいけないと思った。

**意見** たくさんの面白い企画を考えていいと思った。ミッションを作ることで意識を高めるようになり、良いと思った。

**意見** 色々な企画をしていて良いなと思った。ミッションを作るのがいいと思った。交流授業が良かった。

#### グループのまとめ

#### グループのまとめ

交流授業などかかわりを増やすこと。 あいさつなどいろいろな企画を考え、実行する。

参考になった～交流授業などかかわりを増やす。  
 これからの取組～あいさつなどいろいろな企画を考え実行する。

## 開西中学校区用

### 協議②「自分も相手も大切にするためにできること」

#### A一人でできること

**自分の気持ちを大切に** する

**ストレス** 抱えすぎない

**みんなのために自分から行動** する

**意見** 相手の気持ちを考える

**ポジティブ** に考える

**意見** 相手のことを考えて行動する

**みんな平等** に接する人によって態度を変えたりしない。

#### グループのまとめ

自分と相手について考え、行動する。

#### B友だちでできること

**尊重** し合う、貶さないようにする

**自分の気持ちと友達の気持ち** を共有し合う

**嫌なことや悩み** 事があったら友達や先生に相談する。

**意見** 仲間はずれにしない

**喧嘩** もなく仲良く過ごす楽しい毎日を送れるようにする

**意見** 最低限の礼儀を持ちながら仲良くする

**適度な距離感** を保つ

#### グループのまとめ

自分と友達同士で仲良くするためにできることをする。

#### Cみんなでできること

**話し** 合い、自分勝手な行動は控え、話をちゃんと聞く

**困** っている人がいたら助け合う

**意見** 困っている人がいたらすぐに助ける

**他人** を助け合って毎日過ごす

**意見** 相手の意見を尊重し合う

**みんなの気持ち** を尊重し、無下にしない

**一人** ぼつちにしない

#### グループのまとめ

一人ひとりが助け合い、それぞれの気持ちや意見を尊重する。

一人でできる～自分と相手日いて考え行動する。  
 友だちでできる～仲良くするためにできることをする。  
 みんなでできる～助け合い、それぞれの気持ちや意見を尊重する。

## 4. 講評

### 滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

皆さん、こんにちは。本日の交流会にご参加いただき、ありがとうございます。生徒会や児童会の皆さん、大変お疲れ様でした。非常に聞きやすく素晴らしい発表だったと思います。

会場には市議会議員の方々をはじめ、PTAの皆様など、多くの皆様にご参加いただいております。

さて、講評をさせていただきますが、実践交流の発表を聞いて、特に素晴らしいと感じた点が二つあります。

まず一つ目は、各校で挨拶運動に取り組んでいることです。この挨拶運動は、始まって20年近くになりますが、それぞれの学校で「挨拶の音が聞こえる学校づくり」を進めており、今も確実に定着していることを嬉しく思っています。朝、生徒会の皆さんが中心となり、玄関や廊下で登校する子どもたちに率先して声をかけることで、気持ちよく一日が始まります。この取り組みはこれからも続けてほしいと願っています。

続いて二つ目は、異学年交流の取り組みについてです。学級や学年単位にとどまらず、全学年を巻き込んだ交流が進められています。これは、いわゆる水平展開だけでなく、垂直展開もされているということで、非常に素晴らしいことだと思います。

例えば、開西中学校では体育大会で縦割り綱引きや縦割りダンスが行われ、また西小学校では「全校かくれんぼ」や「じゃんけん列車」が実施されました。江陵中学校では「絆づくり交流授業」が行われ、第一小学校では「進化じゃんけん」、第二小学校では「校内クイズ宝探し」、江部乙小学校では全校でドッジボールや短冊の飾り付けなどが行われました。また、明苑中学校では中学校区内の小学校と協働で「いじめ撲滅集会」が実施されました。さらに、第三小学校では「友達を増やそうプロジェクト」、東小学校では「ニコニコ大作戦」や「自己紹介おにごっこ」など、多様な活動が行われました。これらの活動から、学校同士で仲間作りや絆づくりに真剣に取り組んでいることがよくわかりました。

今後も「いじめのない学校づくり」を進めるために、教師だけでなく、生徒会の皆さんが主体となり、学校全体で一丸となって取り組んでいくことが大切だと感じています。これからも、生徒会の皆さんが中心となって、取組をさらに進化させていってほしいと思います。

また、子どもたちの活動を様々な形で支援して下さった校長先生をはじめ、学校の先生方、そして関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございます。そして、今回の「絆づくり成果交流会」において、滝川市保護司会の皆様より記念品が用意されておりますので、後ほど皆様にお配りしたいと思います。

本日の発表、本当にお疲れ様でした。以上で講評とさせていただきます。



